

9月26日(土曜日)「実を結ぶ心」

【新改訳 2017】

ルカ 8.4-15

「そこでイエスは言われた。『……しかし、良い地に落ちるとは、  
こういう人たちのことです。正しい、良い心でみことばを聞く  
と、それをしっかりと守り、よく耐えて、実を結ばせるのです。  
……』」(10-15 節)

有名な「種蒔き」のたとえ話です。主イエスは、神の国のこと  
や霊的なことを、よくたとえ話で分かりやすく話されました。

ここでは、同じ種(神のことば)を蒔いても、その種がまかれ  
る土地(心)によって、その成長には大きな違いがあると言わ  
れました。道ばた(聞いても信じない固い心)、岩の上の地(聞  
いてすぐ受け入れるが、困難に合うと身を引いてしまう、根を  
張らない心)、いばらを生えさせている地(世の心づかいなど  
でふさがってしまい、実が熟することができない心)の、実を  
結ばない3つの例を挙げられました。

冒頭の「良い地」だけが多くの実を結ぶと教えられたので  
す。それは、①正しい、良い心で聞く ②しっかりと守る ③よく

耐える…人たちのことです。

私たちの心は、どうでしょうか。このいずれかに属するでしょうか。

～祈り～

主よ。どうか、まず、自分自身が良い地であれますように、また、私たちの教会も、実を結ぶ良い地でありますように祝福してください。

### 【学びのために】

聖書の中に「実を結ぶ」ことについて何回も記されています。ぜひ、次の箇所も読んでみましょう。マタイ 3.8(悔い改めの実) ヨハネ 15.2、4、5、8(多くの実) ガラテヤ 5.22、23(御霊の実)ほか。